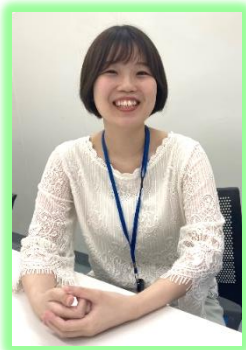


東海財務局では、全ての新規採用職員に対し1人の指導職員がつき、日々の業務における細かな指導を行います。今回は、「指導職員」・「新規採用職員」として経済調査課で1年間を過ごした市岡さんと浅井さんがこれまでの軌跡と成長を振り返ります。

**浅井 麻初**

令和2年度入局  
【新規採用職員】



**市岡 寛之**

平成17年度入局  
【指導職員】



## Conversation 1 × 第一印象

市岡：7月の人事異動で経済調査課に来た時に初めて浅井さんと会って、その時は担当業務が違って席が離れていたけど、電話の受け答えとか見ていて「しっかりした新人だなあ」と思ったよ。

浅井：自分では全くしっかりできていなかったと思いますが…そう言っていてうれしいです！

市岡さんは他部署から異動してすぐに経済調査の業務に溶け込んでいて、どうやったら新しい業務に早く適応することができるのか、見習いたいなあと思いました。財務局では数年ごとに人事異動があって業務内容ががらりと変わることも多いので、異動のたびに新しい業務を覚えなおすのは大変そうです…。

市岡：異動当初は慣れるのに必死でした…溶け込んでいるように見えていたなら良かったです。たしかに異動で業務内容が変わった時は慣れるのに大変だけど、幅広い内容の仕事ができるのも財務局業務の面白いところかなと思うよ。

課内異動で2年目は浅井さんと同じ業務を担当することになったけど、担当業務が変わっても2年目の浅井さんが同じ担当でいてくれるのは頼もしいです。

浅井：なるほど…これからたくさん勉強して、仕事内容が変わっても対応できるようになりたいです！

同じ業務を担当して1年以上が経って、昨年よりはいろいろな面で余裕が出てきたように感じます。頼りないとは思いますが、少しでも市岡さんのお手伝いができるよう、引き続き頑張ります。



## Conversation 2 × 仕事

市岡：浅井さんには経済情勢報告、法人企業景気予測調査、課内調整業務などたくさんの仕事をしてもらっているけど、印象深かった仕事とかあるかな？

浅井：情勢報告や景気予測調査の後の記者発表に参加したことです。自分の担当した内容が新聞やテレビで取り上げられているのを見ると達成感があります。

市岡：経済調査課は各自に担当するパートが割り振られて、新規採用者でも「担当者」として担当パートのヒアリングや公表に向けた課内検討会での説明が任せられるから、担当した内容が取り上げられると達成感あるよね。担当パートの説明は課内検討会から始まり、最終的には財務局トップの局長まで説明してもらうこともあるけど、苦勞したこととかあるかな？

浅井：採用1年目の私が自分の担当を持って説明することになるなんて、最初はすごく驚きました。課内検討会前は緊張していましたが、市岡さんから説明するべきポイントについてアドバイスをいただいて事前に準備することができたので、自信を持って検討会に臨めたと思います。ありがとうございました！

市岡：事前の準備という話だと、企業にヒアリングする時も業界の動きや企業の特長とかの下調べをしっかりとっているなと思って見ているよ。担当する業界によっては専門用語とか難しいこともあるけど、しっかり下調べして企業の方のお話に付いていけるようになると、これも自信に繋がるんじゃないかな。

浅井：新聞を読んだり企業のホームページをチェックしたり、情勢がどんどん変わっていくので取り残されないよう必死です。今でも聞いたことのない単語が登場して戸惑うことがあるので、日々勉強ですね。入念な下調べ、次のヒアリングでも意識して取り組みたいと思います。

## Conversation 3 × 1年を振り返って

市岡：入局2年目になるけど、1年目を振り返って「ここ成長したなあ」って感じることはある？

浅井：2年目になって最初の課内検討会が終わったあと、「説明がわかりやすかった」「昨年から成長したね」と褒めていただいたのがすごく嬉しかったです。わかりやすい説明のために、資料を見やすい形式に作り直したり、説明の順序を工夫したり、自分なりに考えた成果が出たのかなと感じました。もちろんまだまだ勉強途中なので、2年目も初心を忘れず、もっと努力していきます！

市岡：わかりやすく伝えるために、資料の構成を工夫したり、内容をしっかり理解して説明しようとする努力がよく伝わってくるよ。自分もそういう謙虚な心構えを見習わないといけないなあ（汗） 担当している経済調査業務は世の中の動きに対してアンテナを高く張っておかないといけないよね。今は世の中の動きがとても早くて、付いていくのは大変だけど、2年目も色々なことを吸収してさらに大きく成長してくれることを期待してます！



浅井：世間の動きに目を光らせながら、これからも市岡さんの言葉を胸に頑張ります！！

## 若手職員の1日 ～浅井麻初の場合～

### ◆ 7:45 登庁 ◆

フレックスタイムを利用しているので、通常勤務の職員よりも1時間ほど早く出社します。毎日新聞を読んで、目まぐるしく変化する世間の動きに取り残されないよう頑張っています。



### ◆ 9:30 企業ヒアリング ◆

東海地域の経済における足下の状況を把握するため、企業にヒアリングを行います。新規採用職員にも担当企業が割り振られているので、一人でヒアリングに臨みます。事前の準備は入念に行い、深度あるヒアリングに努めます。



### ◆ 11:00 ヒアリングメモの作成 ◆

先ほど行ったヒアリングのメモを作成します。企業の生の声を届けるため、メモの作成は毎回真剣です。読んだ人がヒアリングの様子を把握できるように、わかりやすい記述を心がけています。

### ◆ 12:00 昼休み ◆

お昼ごはんは大体自席で食べています。時々同期や先輩方とランチに行くのが楽しみです。財務局の近くにはおいしいランチのお店がたくさんあるので、まだまだ開拓していきたいです。



### ◆ 16:30 アフターファイブ ◆

フレックスで業務終了が早いので、仕事を終えてからゆっくり休息することができます。（アフターファイブより早い…笑）仕事帰りに趣味のかき氷を食べに行くこともあります。

### ◆ 15:00 計数分析 ◆

自分が担当しているパートの各種計数を集め、ヒアリングで聞いたお話と合わせて分析します。難しい作業ですが、時には上司や先輩に相談して一緒に考えながら理解を深めていきます。

### ◆ 13:00 部次長へご説明 ◆

自分の担当分野について、部長と次長に説明します。新規採用職員だということとは関係なく、活躍の機会が与えられています。明日は局長へのご説明も控えているので、もう一度説明内容をまとめ直して頑張ります！